◇ホーム開幕は残念な結果
岐阜0-1甲府【第２節】

●やはりホーム開幕戦の独特の空気にさらされたからだろうか？岐阜の選手の動きがすこし硬かった。ただ、前評判どおり運動量は豊富で甲府に決して走り負けていない。早めに失点してしまったことと試合前のアクシデントで交代要員が4人ということもあり、安全策をとってきた甲府のディフェンスを崩すことはできなかったがまだまだシーズンは始まったばかり、期待できる。ひとつ注文をつけるならセットプレーをもう少し大事にしてほしい。（ST57）
●宇都宮での勝利を受けて、ついにやってきたホーム開幕戦。前日、シーズンチケットをクラブ事務所で受け取り、どういう経緯で始まったのかわからないが、３０分前入場というシーチケ購入者特典を有効に使って、他サポにも評判の高いスタジアム・グルメの新メニューを堪能する。天気も上々、心なしか客の入りもなかなかに見えた（結局一万人にははるかに及ばず。それでも、同日開催のＪ２では３番目の集客）。こういう日にこそ、なんとか勝利を！ナダレ軍団（サポーター声出し隊）も、ゴール裏からバックスタンドへ場所を移し、少しでもピッチ上の選手を勇気づけようと、声だけではなく、旗、いわゆるゲーフラ（旗の両サイドに柄がついているもの）やＬフラ（片側のみ柄がついているもの）を振っての応援を繰り広げる。対戦相手の甲府には昨年二分一敗。まだ一度も勝てていないクラブのひとつ。しかし、まだ本調子ではない様子。なんとか恩返しがしたかったが…。甲府ＦＷマラニョンが、宇宙開発シュート連発で助けてくれた分を、律儀にもクリアミス、しかもゴール前、でお返ししての０－１。う～ん、コレを糧にガンバレ＞秀人優太はもう少し時間が…、でもやっぱり染矢は楽しみ。あとは大友の猟犬のようなチェイシング、和正のトップコンディションに近い仕上がりに満足。そんな感想を持った開幕戦。まだまだ５１分の２。これから、これから。（ぐん、）
●今年は昨年と逆に甲府を迎えてのホーム開幕戦。近場のアウェーということで、甲府サポ側も多数ご来場されました。サンサンデッキの屋台村は岐阜、甲府のユニが入り混じる状況。呉越同舟とまでは行かないにしろ、お客様を迎える雰囲気が私は好きです。（他所のチームから「ありえない！」という感想を多数頂いております）選手入場前に甲府側ゴール裏の人々が太鼓の音やパラソルを使い賑やかに入場。少しでも甲府の選手がプレーしやすいように雰囲気を作ったといった感じ。まだまだFC岐阜の認知度は今一つ。観客もスポーツ観戦の経験値がまだまだ足りません。今回、スタジアムの楽しみ方を一つ増やして頂いた事には感謝します。ついでに勝ち点３を落としてもらえれば更によかったのですがそれは無理でした。（ち～な）

◇厳しい３失点
愛媛3-0岐阜【第３節】

●およそスポーツというモノは、得点を競う競技が多い。中でも、球技はその際たるモノだ。その中の一つであるサッカーは、定められた時間内に相手より多く得点した方に勝利が与えられる種目だ、というのは周知の事実。ところが、この得点がなかなか決まらないのがサッカーのサッカーたる所以で、だからこそゴールの瞬間には至福の気分が味わえる。だが、たった一度のチャンスを、そのまま得点に結びつけるというのは困難だ。そのため、サッカーのスコアシートには、試合中に何度機会を作ったかを記す項目がある。「決定機」～そう呼ばれるシーンを何回作れるか？が、勝敗を分かつケースが多い。
だが、この試合の岐阜には皆無に近かった。しいて挙げれば、前半左サイドをゴールライン付近まで侵入し、ゴール前にグラウンダーのクロスを入れた場面か。相変わらず、ヤバいスペースに走り込む嗅覚に長けた嶋田…のちょっと前をボールが通り過ぎていったあのシーン（苦笑）まぁ、これも昨年からよく目にすることだ。反対に愛媛は、開幕からの好調さそのままに、キレイな連携からの決定機を演出する。岐阜もよく耐えたが、前半終了間際に痛恨の失点。クリアは大きくの鉄則が守れないくらいセカンドボールを拾われてはやむを得ないか？後半早い時間の失点も痛かった。３点めはしょうがない。点を取るために前掛りになってたからね。
これで、愛媛には四戦勝ちなし無得点。でも、去年のＧＷ長良川での０－３に比べたら、まだマシな気がする。あの時とスコアは同じだけど、あんなに気持ちのワルい負け方じゃあない。次の草津戦に期待が持てる、そんな気にさせる試合だった。それにしても、この試合と次の日曜で、今季の四国遠征は早くも打ち止め。松山→岐阜→鳴門という日程はなんとかならないもんなんかな…（ぐん、）
●ひとことで言うならば、岐阜のやりたいサッカーをすべて愛媛にやられてしまったという印象でした。とにかくよく走り、前線から積極的にボールを追い、ボールを奪ったらシンプルに攻めるといったプレースタイル。このあたり相手の望月監督の意図がチーム全体に浸透していてそれが、開幕からの好調につながっているとも感じられました。個人的に名を挙げると、永芳はまだチームにフィットしてない印象を受けました。まだぎこちないというか手探りの感じでプレーをしているようにも見えました。大学時代とは違うサッカーをしているからかもしれないが、早く岐阜のサッカースタイルを理解して、攻守の要となってもらいたい。（岐阜の誇り）

●昨年のアウェー愛媛戦でもコメントを戴きました、元ユニバ代表にして西濃運輸時代の梅田選手の同僚だった黒田さんから感想が聞けました。この試合は記録員としてメインから試合をみていたそうですが、この日のＦＣ岐阜の印象を聞くと、「動けていないねぇ」とのこと。そして「シュートが愛媛の半分ですくなかったね（愛媛16でＦＣ岐阜８）。」「ボランチの２人がいまいちだったかな。」と。最後に「登録の関係で今日から出場の外人ＣＢ（愛媛のアライール）の出来が良すぎたね。」 確かにアライールは高さのパク選手、西川選手を抑え、速さので染矢選手を抑えた。まさに、一人にＦＣ岐阜の攻撃は手詰まりに。ある意味運が悪かったかも。でも、次のホームでの愛媛戦でもアライールは恐らく出場するわけで、今度はボランチ２人から攻撃を組み立てていかないと、ただでさえシュート数がＪ２最下位と少ないのだから、なおのこと得点の可能性が減ってしまう。今後の修正に期待したい。（緑の小太鼓）

◇GK退場で10人になるも
最後に意地を見せた
徳島3-1岐阜【第５節】

●試合終了の笛が鳴り終わっても、僕らはチャントを歌い続けた。もちろん、敗戦という結果は悔しいんだけど、選手はみんな走りきったから。最後まで戦ってくれたから、「次は勝とう」「これからもサポートしていくから」って伝えたかった。わかってくれたかな？
失点は徳島の術中にハマった感じ。ウチのプレスを嫌っての中盤省略ロングボール。風下を利用したソレは、イヤらしいくらいにＤＦラインとＧＫの間に落ちてきて、そこから喫した２失点。でも、いいサッカーをしたのは、優勢だったのはウチの方。確かに負けはしたけど、やろうとしたことに間違いはないように思う。10人になってから、さらに激しさを増すプレス、両ＳＢの攻撃参加、そして富成の２本のミドル。上がった富成のスペースまでもカバーする和範の運動量。ボールを落ち着かせる橋本の配球。チャンスを作り、得点を狙う淳至と和正。ほとんど二人で守りながら、意表を突いて最前線まで駆け上がり、シュートまで撃っちゃう両ＣＢ。中でも、出場ごとに能力を発揮してきた優大の可能性。ポストもこなし、裏へ抜けるスピードもある。オマケに、チェックされてもスルリといなす柔らかさも見え隠れして…。そりゃ、使いたくなるわ、と思わせる出来。前節、結果を出した染矢とともに、早くスタメンで見たくなるね。ウカウカしてると取られちゃうぞ、得点王（笑）負けずにガンバレ＞１８番（ぐん、）
●結果は１－３と厳しい結果になってしまったが、０－３となってしまってからでも、諦めずにゴールを狙い続けて１点を返すことが出来たのは評価して良い点だと思う。前半の２失点につながったのは、いずれもＤＦ陣の裏にボールを入れられたのがきっかけになっているので、このあたりはＧＫとＤＦ陣との連携とコミュニケーションが重要であると感じさせられた。最後に退場になってしまった野田、このミスは出停明けに取り返してほしい。（岐阜の誇り）
●前節にホーム草津戦で劇的勝利を収め、連勝を狙って意気揚々と乗り込んだ徳島戦。昨年の戦績は２勝１分、相性が良い…ハズだった。しかし、今期の岐阜と同様に選手を大幅に入れ替えた徳島は、昨年のチームとは違っていた。序盤から中盤での激しい攻防。その中でGK野田が１vs１でＰＫを取られ、失点。その５分後には２枚目のイエローで野田が退場、１０人に。更に交代したばかりのGK水谷が交錯プレーでファンブルし２失点。普通なら、これでゲームが終わる…ハズだった。しかし、今年の岐阜は違った。圧倒的な劣勢の中でも後半４５分間を最後まであきらめることなく走り続け、どちらが１０人なのか、どちらが負けているのか、錯覚を起こしそうなぐらいに戦ってくれた。結果的には追加点を許したものの、８１分には執念のゴール！その連携は、（後から録画で確認したのだけれど）今期で最も素晴らしいものだった。だから思った。「ウチの選手達、スゴイ。それに、チームはどんどん成長している」と。だから期待しよう、ホームでの連勝を。そして応援しよう、選手達が満面の笑みで再び挨拶に来てくれるために。（ささたく）
●関東サポおなじみFootnik大崎店にて徳島戦観戦しました。試合開始30分前に店に到着すると店内では岐阜vs徳島の前に札幌vs岡山の試合をやっており、札幌のサポが約20人ほど観戦中。岡山に同点にされ店内ピリピリムード。なにやら引き分けの雰囲気。そして結局ドローで終了。緊張感漂う中、岡山サポー人発見（うれしい反面居づらそう）。このように狭い空間の中に敵サポの表情をじかに感じることができるのがＰＶならではかと。
続いてわれらＦＣ岐阜の試合。10名ほどの岐阜サポとともに飲み物片手にスタンバイ（徳島サポ未確認）。キックオフ、そしてＰＫ失点、退場、追加点・・・。意気消沈している中、片桐→和正と流れの中からのゴール。とっさに歓喜に包まれハイタッチ。結局１－３で残念会に突入したが（勝てば祝勝会です）、「あの和正のゴールで一週間がんばれる」との声に一同納得。そして「今年はアウエーよりもホームでの勝利を」といった流れで観戦しておりました。（いもいも）

Living in Woods 本庄工業株式会社
http://www.honjo-woodream.com/

絵：ひらっち

2009J. League Division2 第６節 アビスパ福岡 戦
4/5（日）16:00～ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

◇今季ホーム戦初勝利！
岐阜1-0草津【第４節】

●後半のみの観戦になってしまったが、FC岐阜は最終ラインを高めに取ってとても攻撃的にゲームを進めているようにみえた。今回は交代がうまくハマったようにみえる。西川の高さを生かしたプレーを見せておいて、染矢の速さで相手ディフェンスをかく乱する。それが終了間際の決勝点に結びついたように映った。ゴールシーンに二人とも絡んだのは偶然ではない。（ST57）
●スコアレスドローも覚悟しはじめたときにミドルレンジから放たれた染矢のシュート・・・ＤＦのブラインドになっていたこともあるが、相手ＧＫ本田が１歩も動けない実に鮮やかなシュートでした。東海リーグ時代の天皇杯での対戦から数えて５戦目苦渋を舐めさせられてきた岐阜にとって、実に歴史的な勝利だと思います。
この試合で光っていたのは、ボランチの橋本ですかね。全体のバランスに気を配り、危険な場面には必ず顔を出し目立たないながらもそのプレーぶりは、さすが海外で揉まれてきているものがあるなと感じました。
やはり、ホームでの勝利は嬉しさもひとしおですね。家路につくお客さんがみなニコニコとしながら、会場を後にするのを見るにつけその思いは強くなりました。（岐阜の誇り）
●試合終了のホイッスルが鳴ると同時に目頭が熱くなった。涙目で周りの仲間達と喜びを爆発させながら見た彼らの目も心無しか潤んでいる様だった。
今季のホーム戦での初勝利にして対ザスパ草津戦においての初勝利。ＦＣ岐阜を愛する一人一人が様々な想いと共にこの勝利を噛み締めていたことだろう。その中の一人である自分の目頭を熱くさせたのは選手達のひたむきに走りつづける姿と粘り強くボールを追いつづける姿勢だった。
この日の観客は２３３２人。Ｊ２の基準で見ても「多い」とは言えないだろう。しかしながら、平日の夜であり気温もかなり低かったことを考えれば大勢の方々が足を運んでくれたものだと思う。当然、スタジアムに足を運ぶために一人一人がいろいろなものと兼ね合いをつけて来てくれたはず。リーグ戦という観点で見れば「１／５１」の試合なのかも知れないが、同時に観客にとっては「１／１」の試合でもある。２００９シーズンＪ２第４節は二度と訪れることもなく、中には今シーズンで唯一観ることのできる試合がこの試合という方もいたかも知れない。そんな観客の前で、足を運ぶに値する「気持ちの強さとひたむきさ」をピッチ上で表現し、勝利という最高の形で応えてくれた選手達。そんな選手達が、くしゃくしゃの笑顔でバックスタンドの前にやってくるのを涙で少しぼやけた目で見ながら思った。
クラブとして新しいスタートをしたばかりのＦＣ岐阜。至らないところや足りないものもたくさんある。それでも選手達はひたむきに粘り強く戦ってる。そしてピッチからそれを僕らに伝えてくれている。そして多くの人達を笑顔にしようと頑張ってくれてる。そんな選手達と共に歩んでいけることに改めて感謝すると同時に、願わくば一人でも多くの人達にこのひたむきな選手達を観にスタジアムに足を運んでもらいたいと強く思った。
多くの人々がスタジアムに足を運ぶことが選手達の力になり、それを糧にした選手の頑張りが足を運んだ人達にも力をくれる。そういった良いサイクルを生み出せる希望に満ちたゲームだった。だからこそ今後もホームでの試合では一層のひたむきさと粘り強さを期待したい。そしてそれがでる選手達だと信じています。そのためにみんなで今季も支え続けます。一緒に頑張ろう。（マツヒラ）

●ホーム開幕となった甲府戦では、残念ながら敗れた岐阜。しかし９０分間最後までひたむきに走るプレーは、負けたとはいえ何かしらの感動を与えてくれるものだった。しかし、続くアウェイ愛媛戦では大敗。次のホームでの対戦相手は３連勝中、しかも昨年は１度も勝てなかった草津。更にいえば、３年前の東海リーグ１部時代に天皇杯で対戦して以来、勝てていない嫌な相手。中３日でどのように修正してくるか注目の中、先発を入れ替えて望むチーム。そして、前節とはうって変わって機能するチーム。どこまでもボールを追いかけ、走り続けることで徐々にゲームを制していく。後半になると更にその傾向は強くなり、何度も惜しいシーンは作るものの、得点する事ができない。全員の献身的なプレーで負ける雰囲気はしないのだけれど、フィニッシュで後ひとつ、ゴールに至る何かが足りない。そんなジリジリ焼け付くような感覚の中で迎えた試合終了間際の８８分、途中出場した染矢がミドルシュート。無回転のそれは、無反応のGKを横目に枠を捉えてゆっくりとゴールに向かっていき…そしてネットに刺さり、ポトリと落ちる。一瞬息を呑み、そして大爆発するスタジアム。そして最後まで走り続け、試合終了。再び歓喜に沸くスタジアム。「やっと草津に勝てた」「ホームで勝てた」と安堵感にも似た気持ち。挨拶に来てくれた選手達の本当に嬉しそうな表情が実に誇らしく、印象的だった。昨年は３勝しかできなかったホーム長良川。今年まず１勝できたことを喜びたいが、これからも「ホームで勝つ」ことに拘ってほしい。そして、昨年よりも多く、ホームでの勝利の喜びを選手達とともに分かち合いたい。今年は、それが出来るような気がする。（ささたく）

◇次節対戦の水戸サポ氏より
笠松陸上の取扱説明書です

●どうも、いつもお世話になってます。水戸サポから、今年の笠松（not競馬場）の取り扱い説明書です。
まず、今年からアウェーサポはアウェーゴール裏席を買ってもらうことになりました。今までのＡ席ではなく、アウェー席です。そして、バックスタンドとアウェーゴール裏の行き来が、ホーム開幕戦（徳島戦）はなぜか出来たのですが、２試合目から柵が出来て通り抜け出来なくなりました。もし、ゴール裏派ではないし・・・って方で遠征に来る方には申し訳ないです。
売店の状況も去年と変わり、火が使えなくなってしまったため、店から持参して持ってきております。長良川に慣れた岐阜サポたちが満足してくれるものか正直、不安です。ただ、火を使う必要のないねばり丼やパフェなどは相変わらずのクオリティなので期待してください。
アクセスですが、先月末に東海PAスマートICがオープンしましたが、岐阜方面から来る場合は那珂ICの方が道筋に沿っているので、那珂を使ってください。電車派の方へは東海駅の西口階段下の東海村出張所で無料でレンタサイクルが借りられますが20台程度なのでご注意を。タクシー、徒歩の場合は佐和駅の方が近いです。それでは多数のご来場をお待ちしています。（水戸サポ／izumi。）

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩３分。
休：日曜日（今日はお休みです）
名鉄 JR

today's guest
アビスパ福岡

2008 J2 第8位
■対戦成績
第07節 08/04/12 福岡1-5岐阜
第22節 08/06/25 岐阜0-1福岡
第38節 08/09/27 岐阜1-1福岡

2009J2
■順位表■第05節終了
勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

1	C大阪	15p	+7	10	
2	湘南	15p	+5	7	
3	水戸	12p	+3	7	
4	愛媛	10p	+5	9	A●
5	甲府	10p	+2	4	H●
6	草津	9p	+1	8	H○
7	徳島	7p	+3	7	A●
8	福岡	7p	+1	6	
9	仙台	7p	0	2	
10	東京V	7p	-1	3	
11	岐阜	6p	-4	3	--- --- ---
12	富山	5p	-1	2	
13	岡山	4p	-1	2	
14	札幌	4p	-2	4	
15	熊本	4p	-4	4	
16	鳥栖	4p	-4	3	
17	横浜C	1p	-4	4	
18	栃木	0p	-6	6	A○

次回HomeGame
第8節
ベガルタ仙台戦
4/15（水）19:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集！
gidaidohri@hotmail.co.jp
お待ちしています！

ＦＣ岐阜大好き通信（岐大通）
4/5号
編集発行：『岐大通』製作委員会
今号の製作担当：ささたく＆吉田鋳造

●おしらせ●
2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、３～４節ごとに発行の体制で臨んでおります。今後の発行予定です。
4/25鳥栖戦→5/9岡山戦→5/24熊本戦……
よろしくお願い申し上げます。

ALADDIN
何も無い店だけど・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心 癒される・・
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町３丁目
（木ノ本公園東）